

日本女子大学文学部・文学研究科 学術交流企画

シンポジウム

義太夫節浄瑠璃作品翻刻の

意義と未来

AI活用推進の中での問題提起

二〇二五年 三月八日「土」

午後二時～四時三〇分（終了予定）「開場 午後一時三〇分」

日本女子大学 目白キャンパス 百年館低層棟 506教室

趣旨説明 ● 黒石陽子「東京学芸大学名誉教授」

講演 ● 義太夫節正本のテキスト機械可読化と漢字入力処理

飯島 満「国立文化財機構東京文化財研究所客員研究員」

講演 ● 浄瑠璃研究における「文字譜」翻刻の意義と諸問題

田草川みづき「千葉大学准教授」

講演 ● 改作の翻刻の意義と未来——傾城反魂香の改作と改題

東晴美「日本女子大学学術研究員」

参加無料

同時
オンライン
配信

要事前
申し込み
(配信のみ)

義太夫節浄瑠璃作品翻刻の

意義と未来

A-1 活用推進の中での問題提起

二〇二五年
三月八日「土」

午後二時～四時三〇分(終了予定)「午後一時三〇分開場」
日本女子大学 目白キャンパス 百年館低層棟 506 教室

現在、人形浄瑠璃文楽として上演される作品の多くは、近松門左衛門没後18世紀半ばの時期に合作制度のもとで作られたものである。しかしこれらの作品はこれまでにその一部しか翻刻されず、また同じ作品が繰り返し翻刻されることがあっても、同時期の他の殆どの作品は翻刻対象とならず、読むことが困難であった。そのため研究も十分には進んでこなかったという状況がある。義太夫節正本研究会では、演劇研究、音曲研究、近世語研究の研究者が結集し、この時期の未翻刻の義太夫節浄瑠璃作品を翻刻してきた。二〇〇六年より『義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集集成』として刊行した作品は、第一期から第七期までで既に73作品におよび、新たな研究の契機を提供し続けている。二〇二五年二月に第八期として新たな11作品が出来るにあたり、これまでの研究成果を踏まえ、その一部を報告する。

現在翻刻アプリが複数提供されているが、翻刻に当たつての様々な問題点がアプリの活用によって解決するわけではないし、また文章解釈を踏まえた翻刻が提供されているわけでもない。AIの利用が進む中、研究者が翻刻資料を提供することの意義を問い直すとともに、義太夫節浄瑠璃を読み解く上で、翻刻作業を通じて明らかになり、確認しておくべきことがらを、多方面から明らかにすることを目的とする。

- まずは、第一回として、以下の三点からの講演を行う。
- ・ 浄瑠璃本における漢字表記に関わる問題と認定について
 - ・ 翻刻し資料を読み解くための文字譜の特徴について
 - ・ 改作作品の翻刻を行う意義について

義太夫節の研究にとどまらず、翻刻を行う必要のある分野の方々にご参加いただき、ともに翻刻を行う意義について意見交換を行いたい。

同時
オンライン
配信

オンラインでの参加をご希望の方は、
下記URLまたはQRコードの
申し込みフォームからお申し込みください。
(当日ご来場の場合は申し込みは不要です)



<https://forms.office.com/r/Kxw6eKyTmJ>

義太夫節正本刊行会 編

『義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集集成 (第八期)』

全10巻・函入り

今様傾城反魂香／契情我立杣／ひらかな盛衰記／今川本領猫魔館／義経新含状／詩近江八景／浦島太郎倭物語／花筏巖流島／源平布引滝／青梅撰食盛・傾城買指南

定価 37,400円(税込) 玉川大学出版より2025年2月刊行

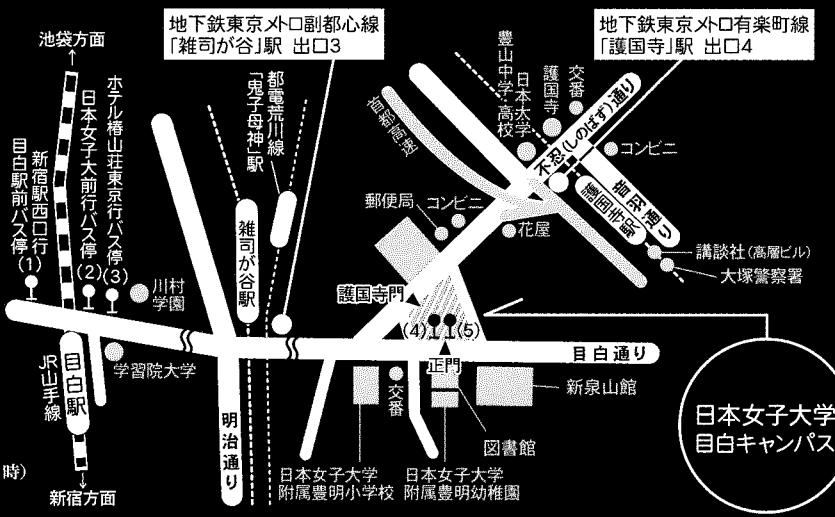
〈当日、ご注文の方には特別価格にてご提供いたします(1期から8期まで)。〉

日本女子大学 目白キャンパス 百年館低層棟 506 教室

日本女子大学 目白キャンパス
東京都文京区目白台2-8-1 03-3943-3131 (代表)

- アクセス
- JR山手線 目白駅から 徒歩約15分/バス約5分
 - 都営バス(学05)「日本女子大前」行(直行)
「目白駅前」(2)乗車 「日本女子大前」(4)下車
 - 都営バス(白61)「新宿駅西口」行または「ホテル椿山荘東京」行
「目白駅前」(1・3)乗車 「日本女子大前」(5)下車
 - 東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅(3番出口) 徒歩約8分
 - 東京メトロ有楽町線「護国寺」駅(4番出口) 徒歩約10分

【問い合わせ先】
日本女子大学文学部日本文学科 中央研究室
〒112-8681 文京区目白台2-8-1 TEL: 03-5981-3522(月～金・10時～16時)
Eメール: nagauta@fc.jwu.ac.jp



日本女子大学
目白キャンパス